

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 4年 5月 25日

学校名 安居小学校

校長氏名 斎藤 瑞恵

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 安居地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 学校全体で、水や電気などの資源やエネルギーを大切に使い、環境にやさしい学校づくりに取り組みます。
- ③ 地域と連携しながら、ごみの分別、リユースやリサイクルに努めます。

2 取組内容

- ① 環境学習・環境教育
 - ・安居地区の自然環境について学習します。
 - ・社会科の学習の中で、ごみ処理が抱える問題や水資源の有限性を学習します。
- ② 省エネルギー・省資源の取組
 - ・環境委員会で、掲示物や放送を用いて、節水・節電を呼びかけます。
 - ・掃除用具の点検を毎月行い、大切に使うように呼びかけます。
- ③ ごみの分別・リユース、リサイクルの取組
 - ・地域のごみ分別ルールに従って分別します。
 - ・PTAや地域と連携し、アルミ缶や古紙の回収を実施します。
 - ・文書や会議資料は、可能な限り裏紙を活用して印刷したり、データによるペーパーレス化を推進したりします。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。)

- ③学校教育全体を通して、ごみの分別、リサイクルやリユースを徹底することで、将来世代のために有限である資源を有効に使用しなければならないことを理解する。(有限性、公平性)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">安居小学校</h1>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <p>① 安居地区の環境、地球環境について学習します。</p> <p>② 学校全体で、水や電気などの資源やエネルギーを大切に使い、環境にやさしい学校づくりに取り組みます。</p> <p>③ 地域と連携しながら、ごみの分別、リユースやリサイクルに努めます。</p>	
<p>2 取組内容</p> <p>① 環境学習・環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習プログラムの一環で、5年生が「どんぐりプロジェクト」に参加し、どんぐりの苗への水やりやプランターへの植え付けに取り組んだ。 ・生活科の学習の中で、2年生が玄関に飾るチューリップの球根植えを行った。 ・環境委員会の活動として、チューリップの水耕栽培を行った。 <p>② 省エネルギー・省資源の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の手洗いの際、節水の呼びかけを行った。 ・使わない教室や部屋の消灯およびストーブの消火に取り組んだ。 ・会議等の資料は、PCのデータを使用するなど紙媒体を使用しないようにし、紙を使う場合は裏紙の使用を心がけた。 ・掃除用具の点検を毎月行い、用具を大切に使用するよう呼びかけた。 ・環境委員会の6年生が、図工の単元の中で、工夫した掲示物を作成し、掃除用具の整理整頓を心がけるよう呼びかけた。 <p>③ ごみの分別・リユース、リサイクルの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のごみの分別ルールに従って、分別を行った。 ・各教室に燃えるごみ、燃えないごみ用のごみ箱を設置して、分別に取り組んだ。 ・毎週末に各教室や清掃場所のごみを燃えるごみと燃えないごみに分別して回収を行った。 ・アルミ缶や古紙の回収をPTAや地域と連携して実施した。 ・折れたり破れたりして使用できない紙を回収し、廃品回収に出した。 	   

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

③について、学校全体で、ごみの分別や不要になった紙等を再利用する意識が少しずつ育ち、限りある資源を有効活用しなければならないことを理解できた。

（多面的、有限性、公平性）

3
見直し

【具体的効果】

- ①環境委員会の6年生が、図工の単元の中で、掃除用具の整理整頓を呼びかけるカードを制作、設置したことで、掃除用具が整頓され、気持ちよく掃除ができた。また、2年生が昨年育てたチューリップの球根を、環境委員が再度、水耕栽培で育てたことで自然を大切にする意識が大きくなった。
- ②使わない教室の電気を積極的に消す児童や、手を洗う際に泡を流すとき以外は水を止める意識を持った児童が増えた。
- ③燃える、燃えない、資源ごみなど、ごみの種類に応じて、分別しようとする意識が育ってきている。

【改善点】

- ・学校の周りの豊かな自然をより有効に活用し、学習や学校行事等に取り入れていく。
- ・社会科などの授業を通して、水資源やエネルギー資源などに関する環境問題について調べ、環境委員会を始めとする委員会活動で、校内でできる具体的な取り組みを考え、実践していく。